

令和5年度および令和6年度以降のMIDI検定3級、2級の筆記試験範囲について

令和5年3月に「ミュージッククリエイターハンドブック【2023年改訂】～MIDI検定公式ガイド～」を発売いたしましたので、これに伴い令和5年度以降の筆記試験範囲に変更がございます。詳細は下記を参照ください。

1. 令和5年度12月に実施される試験問題は、旧ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック（MIDI検定1・2・3級対応公式ガイド）」における各級の試験範囲内で、新ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック【2023年改訂】～MIDI検定公式ガイド～」に記載の内容と齟齬がない部分のみを出題範囲とします。これに伴い、試験時の参照（持ち込み）ガイドブックは、旧ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック（MIDI検定1・2・3級対応公式ガイド）」および新ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック【2023年改訂】～MIDI検定公式ガイド～」のどちらを持ち込んでも構いません（どちらか一方になります）。
2. 令和6年度以降の試験範囲は、新ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック【2023年改訂】～MIDI検定公式ガイド～」からの出題となり、旧ガイドブックは使用できません。

各級の試験範囲は下記の通りです。

令和5年度の3級試験範囲

MIDI検定3級では「音楽制作の基本的知識」を目安に、下記の項目から構成される内容を学習目標とします。

・音楽再生と音楽制作の歴史

○旧ハンドブック第1章1及び2の内容

○新ハンドブックCHAPTER1-5、CHAPTER1-6の内容

・PCに関する知識

○旧ハンドブック第2章1の内容

OSについて、CPUなどのパーツに関する知識など

・音楽制作機材の名称と機能

○旧ハンドブック第2章2～6の内容

○新ハンドブックCHAPTER2全て

DAW では何ができるのか？

オーディオインターフェースは何をするものなのか？

機器の名称と簡単な役割について

・MIDI の基礎知識

○旧ハンドブック第3章 1 の内容

○新ハンドブック CHAPTER 3-1

・MIDI による演奏情報の知識

○旧ハンドブック第3章 2 の内容

○新ハンドブック CHAPTER 3-2

・GM に関する知識

○旧ハンドブック第3章 3 の内容

○新ハンドブック CHAPTER 3-3

・楽典および単旋律程度の楽譜とピアノロール、イベントリストの関係

※ピアノロール表記の出題も含む

○旧ハンドブック第3章 2 の内容

○旧ハンドブック第6章 1、3、4、の内容

○新ハンドブック CHAPTER4-1、4-2、4-3、4-4、4-5、4-6、及び巻末の楽典資料

・デジタルオーディオに関する知識

○旧ハンドブック第4章 5 の内容

○旧ハンドブック第5章 6 の内容

○新ハンドブック CHAPTER5-2

新ガイドブックの方では情報量が多いですが、令和5年度に関しては旧ガイドブックに未記載の内容を出題しません。昨年度の試験問題を参考に、同様の試験内容が出題されるとお考えください。

令和5年度の2級試験範囲

MIDI 検定2級では「音楽制作に関する実務を行う知識ならびにその技術」という点に注目し、3級で学習する内容に加え下記の項目から構成される内容を学習目標とします。

・詳細なMIDIメッセージの仕組み

○旧ハンドブック第3章 3～7 の内容

○新ハンドブック CHAPTER 3-4、3-5

に記載されている MIDI の知識について
2 進数、16 進数、ビット、バイトの理解

・各種 DAW における MIDI イベント表記の実際

○旧ハンドブック第6章 3 の内容

○新ハンドブック CHAPTER4、CHAPTER7 及び巻末の楽典資料

・楽典および音楽表現と MIDI による表現

○旧ハンドブック第6章 1、2 の内容

に記載されている楽典と、

○旧ハンドブック第6章 4、5 の内容

記載されている MIDI による音楽表現の実際、2 級実技試験のデータ作成に関する知識

○新ハンドブック CHAPTER1-3、1-4、CHAPTER4、CHAPTER7 及び巻末の楽典資料

・シンセサイザーに関する知識

○旧ハンドブック第4章 6、7 の内容

○新ハンドブック CHAPTER6 の内容

音源方式、アナログシンセの構造、フィルターの効果など

・エフェクトに関する知識

○旧ハンドブック第5章 5 の内容

○新ハンドブック CHAPTER7 の内容

・オーディオプロダクションに関する知識

○旧ハンドブック第5章 1~4 の内容

○新ハンドブック CHAPTER2-9 CHAPTER7 の内容

録音、編集、ミキシング、マスタリングなどの実務的ノウハウ

レベルに関する知識など

・音響学

○旧ハンドブック第4章 1~4 の内容

○新ハンドブック CHAPTER1-1、1-2

音の要素、波形、倍音などの知識

デシベルに関する知識

・リリース

- 旧ハンドブック第7章 1 の内容
(制作プロセスの例として第 1 章-3 の内容にも触れる)
- 新ハンドブック CHAPTER8-1 の内容
CD、DVD など、固定メディアの種類 ISRC について

・著作権に関する知識

- 旧ハンドブック第7章 2 の内容
- 新ハンドブック CHAPTER8-2 の内容
財産権、著作隣接権、私的録音補償金など

2 級も新ガイドブックの方では情報量が多いですが、令和 5 年度に関しては旧ガイドブックに未記載の内容を出題しません。昨年度の試験問題を参考に、同様の試験内容が出題されるとお考えください。

令和 6 年度以降の 3 級出題範囲（新ガイドブックのみが使用可となります）

■CHAPTER 1 音と音の記録～音楽制作の変化
音の記録と再生、音楽制作の変化（1-5、1-6 の内容）

■CHAPTER 2 音楽制作にまつわる機材の知識
コンピューターに関する知識（2-1 の内容）
オペレーティングシステムの知識（2-2 の内容）
その他の端末に関する知識（2-3 の内容）
周辺機器の知識（1）【さまざまな接続形式】（2-4 の内容）
周辺機器の知識（2）（2-5 の内容）
DAW について（2-6 の内容）
プラグインソフトウェアについて（2-7）の内容
その他のソフトウェア（2-8 の内容）
アナログ伝送の知識（2-9 の内容）
デジタル伝送の知識（2-10 の内容）
ケーブルとコネクタの種類（2-11 の内容）

■CHAPTER 3 MIDI について
MIDI 1.0 の基礎（1）（3-1 の内容）
MIDI 1.0 の基礎（2）（3-2 の内容）
MIDI 1.0 の基礎（3）（3-3 の内容）

■CHAPTER 4 MIDI と音楽表現

イベントリスト、ピアノロール、スコア表記、ドラムパーカッションの演奏データ（4-1、4-2、4-3、4-4 の内容）

代表的な演奏表現（4-5 の内容）

セットアップデータの重要性と作り方（4-6 の内容）

■CHAPTER 5 デジタルオーディオの知識

代表的なオーディオファイル（5-2 の内容）

■CHAPTER 6 電子楽器の知識

アナログシンセサイザー（6-1 の内容）

令和 6 年度以降の 2 級出題範囲（新ガイドブックのみが使用可となります）

CHAPTER9 を除く全ての CHAPTER の内容